

藏内勇夫日本獣医師会会長、アメリカ獣医師会総会で挨拶 !!

当協会の藏内勇夫会長（日本獣医師会会長）は、アメリカ獣医師会から、2022年7月29日（金）に開催されたアメリカ獣医師会総会（AVMA コンベンション 2022）に招待を受け、挨拶をされました。

「AVMA コンベンション 2022」は、歴史的なフィラデルフィアのペンシルベニアコンベンションセンターで7月29日（金）から8月2日（火）まで開催されました。



藏内勇夫日本獣医師会会長

【藏内勇夫日本獣医師会会長の挨拶】

皆様、こんにちは。総会にお招きいただき、ありがとうございます。

日本獣医師会・会長の藏内勇夫です。

世界的な新型コロナウイルスの流行は依然として続いておりますが、対面行事を再開できる日が来たことをとても嬉しく思います。本日の総会と大会の開催をお祝い申し上げます。

アメリカ獣医師会と日本獣医師会は、ともに世界獣医師会を支える主要会員です。

また、2021年には、私が次期会長を務めるアジア獣医師会連合（FAVA）に、アメリカ獣医師会（AVMA）が加盟しました。今後、アジア・太平洋地域の獣医師と市民、動物のために協力できることを期待しています。

さて、私は「ワンヘルス」をライフワークとして取り組んできました。2004年の「マンハッタン原則」を受け、2010年に日本獣医師会は「動物と人の健康はひとつ。そして、それは地球の願い。」を活動指針としワンヘルスに取り組むことになりました。

日本獣医師会は、日本医師会と「ワンヘルスに関する学術連携協定」を2013年に結びました。2015年にスペイン・マドリードで開催された「第1回ワンヘルス国際会議」に招待された際、第2回会議を日本で開催することを依頼され、それを受けて、2016年に「第2回ワンヘルス国際会議」を開催し、『福岡宣言』を採択しました。2017年には、韓国・仁川で世界獣医師会（WVA）大会が開催され、テーマは「ワンヘルス・ニューウェーブ」でした。2021年、私はアジア獣医師会連合（FAVA）次期会長兼副会長に就任し、WVAに関する2つの案件を決定しました。AMVAのFAVA加入、そして「FAVAアクションプラン」と「ワンヘルス委員会」を設立しました。

今後、アジア・太平洋地域の獣医師と市民、動物のために活動します。

今年11月には、「アジアからのワンヘルスアプローチ」をテーマにFAVA大会を日本・福岡で開催します。国連やG7会議で、ワンヘルスが大きく取り上げられていることは、ご存じのことと思います。

日本政府は、内閣感染症危機管理庁を設置するとともに、国立感染症研究所と国立国際医療研究センターを統合した日本版CECを今後設置し、人獣共通感染症対策を強化する計画です。また、FAVAワンヘルス福岡オフィスを福岡市に設置する計画です。

獣医療先進国であるアメリカの皆さんのご協力を得ながら、日本からアジアへ、アジアから世界へと「ワンヘルス」を推進したいと願っています。

その一環として、第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会を11月11日～13日に福岡で開催します。どうか皆さんの海外旅行再開は、日本にさせていただき、大会への参加と福岡観光を楽しんでいただければ幸いです。

今後ますますの皆様のご発展をお祈りしております。

本日は、お招きいただきありがとうございました。

（一部抜粋）



今回退任されるアメリカ獣医師会
会長のホゼ・アルセ会長（左）



アメリカ獣医師会の
ロリ・テラー新会長（左）



ジョン・デヨン世界獣医師会次期会長

2022年8月8日

福岡ワンヘルス協議会・事務局